

(11)Publication number : 06-325059  
(43)Date of publication of application : 25.11.1994

G06F 15/24

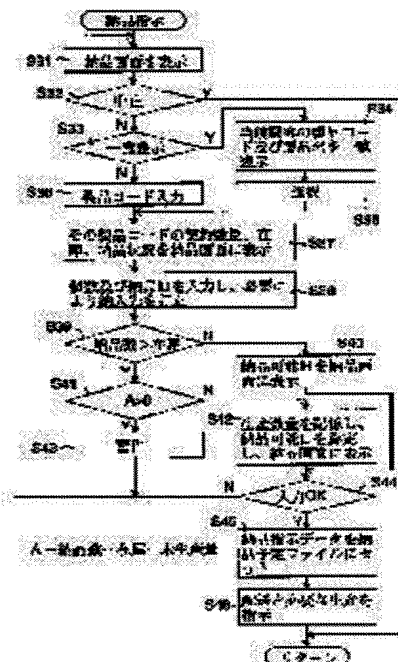
(71)Applicant : TOPPAN MOORE CO LTD

10.05.1993

(72)Inventor : MATSUOKA NOBUO

(57)Abstract:

CONSTITUTION: When the instructed number of commodities to be delivered is less than stock (S39), the delivery enable date is displayed on a screen (S40). Even when the instructed number of commodities to be delivered exceeds the stock (S39), in the case they can be dealt with by utilizing unproduced commodities included in the contracted amounts (S41), the amounts of commodity to be produced is temporarily stored (S41) and the delivery enable date is displayed on the screen (S42). When they can not be dealt with even by using unproduced commodities (S41), an alarm is issued, the inputted number of commodities to be delivered is negated, and the re-input is urged (S43). When the delivery instruction is completed (S44), delivery instruction data are registered on a delivery schedule file (S45), the distribution is instructed to a distribution center, and required production is instructed to a plant (S46).



[Date of request for examination]	09.05.2000
[Date of sending the examiner's decision of rejection]	16.01.2002

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection] 2002-002594

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection] 14.02.2002

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-325059

(43)公開日 平成6年(1994)11月25日

(51)Int.Cl.<sup>5</sup>

G 0 6 F 15/24

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

8724-5L

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 12 頁)

(21)出願番号 特願平5-108534

(22)出願日 平成5年(1993)5月10日

(71)出願人 000110217

トッパン・ムーア株式会社

東京都千代田区神田駿河台1丁目6番地

(72)発明者 松岡 暢夫

東京都千代田区神田駿河台1丁目6番地ト

ツパン・ムーア株式会社内

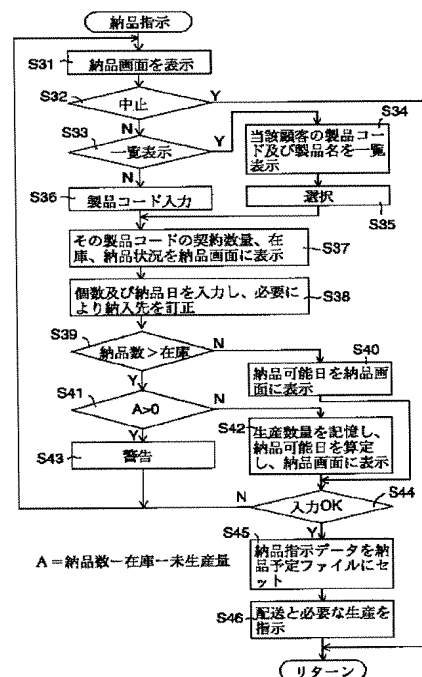
(74)代理人 弁理士 田中 常雄

(54)【発明の名称】 発注管理システム及び顧客管理システム

(57)【要約】

【目的】 契約数量の範囲内で納品の指示を受け付ける。

【構成】 指示された納品数が在庫以下のとき (S 3 9)、納品可能日を画面に表示する (S 4 0)。指示された納品数が在庫を越える場合でも (S 3 9)、契約数量の内の未生産分に対応できるときには (S 4 1)、生産数量を一時記憶し、納品可能日を画面に表示する (S 4 2)。未生産分でも対応できないとき (S 4 1)、警告して、入力された納品数を拒否し、再入力を促す (S 4 3)。納品指示が完了すると (S 4 4)、納品予定ファイルに納品指示データを登録し (S 4 5)、配送を配送センターに、必要な生産を工場に指示する (S 4 6)。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 オンラインによる役務を含む品物の発注を管理する発注管理システムであって、発注される品物に関して少なくとも数量及び価格を限定して予め締結した契約を登録する契約ファイルを具備し、当該契約の数量範囲内で端末からの発注を受け付けることを特徴とする発注管理システム。

【請求項2】 更に、特売情報を提示する手段を具備し、特売に係る品物が、特売情報を提示する顧客との間で契約された品物である場合、契約価格より特売価格が低いときのみ当該顧客に提示することを特徴とする請求項1に記載の発注管理システム。

【請求項3】 複数の顧客間で、各顧客の取引状況の閲覧の可能及び禁止の何れか一方を規定するテーブルを記憶する記憶手段を設け、他の顧客の取引状況の閲覧要求に対し当該記憶手段を参照し、選択的に閲覧を許可することを特徴とする顧客管理システム。

【請求項4】 上記テーブルが、2つの顧客間での単方向の閲覧可能性を記憶する請求項3に記載の顧客管理システム。

【請求項5】 上記テーブルが、複数の顧客間での双方向の閲覧可能性を記憶する請求項3に記載の顧客管理システム。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、発注管理システム、特に、オンラインによる指定商品の発注を管理する発注管理システムに関する。

【0002】本発明はまた、このような発注管理システムに適用する顧客管理システムに関する。

## 【0003】

【従来の技術】端末装置からVANなどの通信網を介して特定のホストコンピュータにアクセスし、当該ホストコンピュータに注文を転送する発注管理システムは、周知である。但し、従来の発注管理システムでは、当該ホストコンピュータにアクセスする全ての者に発注可能な商品が解放されており、端末のユーザは、別のカタログ又は一覧表示される商品リストから所望の商品とその個数を選択して発注する。ホストコンピュータは、これに応じて、指定商品を指定数、配送処理に回すと共に、所定の期日で請求書を作成し又は所定の銀行口座から引き落とし処理する。

## 【0004】

【発明が解決しようとする課題】印刷業界には、一般に発注者毎に異なる印刷物の印刷を請け負い、これにより製造した印刷物を指定場所に納入する慣行がある。即ち、受注又は発注は、請負いの契約単位となり、印刷会社にとって、受注に際しては受注毎に契約が必要になる。同じ印刷物に対して複数の契約がある場合、先の契約から順に履行される。納品に関しても契約数の範囲に

限定されるし、納品先が発注者とは異なる住所になり、請求先が発注者とは異なることもある。

【0005】勿論、印刷会社が汎用的又は標準的な印刷物などを販売することがあり、これらについては、注文主によって納入価格が異なることがありうる。

【0006】本発明は、このような制約及び要求を満たす発注管理システム及び顧客管理システムを提示することを目的とする。

## 【0007】

【課題を解決するための手段】本発明に係る発注管理システムでは、オンラインによる役務を含む品物の発注を管理する。特徴的には、発注される品物に関して少なくとも数量及び価格を限定して予め締結した契約を登録する契約ファイルを具備し、当該契約の数量範囲内で端末からの発注を受け付ける。

【0008】また、本発明に係る顧客管理システムでは、複数の顧客間で、各顧客の取引状況の閲覧の可能及び禁止の何れか一方を規定するテーブルを記憶する記憶手段を設け、他の顧客の取引状況の閲覧要求に対し当該記憶手段を参照し、選択的に閲覧を許可するようにした。

## 【0009】

【作用】上記手段により、契約の範囲内での発注のみが許されるので、契約の存在が全体となる業界でのオンライン発注が可能になる。また、特売商品の提示に関して、契約価格の方が安い顧客に対しては、特売商品としては提示しないようにした。無意味だからである。

【0010】また、上記顧客管理システムでは、上記記憶手段により、別の存在（法人又は個人）の取引状況（又は利用状況）を限定された範囲で閲覧自在とすることができ、しかも、その範囲を任意に設定することができる。これにより、グループ企業間や、親会社と子会社などの関係で、必要により互いの取引状況を自由に閲覧できるようになり、例えば上記発注管理システムなどで柔軟な対応が可能になる。

## 【0011】

【実施例】以下、図面を参照して本発明の実施例を説明する。なお、以下では、得意先との契約に基づく品物を特に製品と呼び、その他の汎用的又は標準的なものを商品と呼ぶ。

【0012】図1は、本発明の一実施例の概略構成ブロック図を示す。N個の端末10（10-1、・・・10-N）が付加価値通信網（VAN）12を介して、印刷会社のホストコンピュータ14に接続する。ホストコンピュータ14は、例えば、周知の典型的な構成として、CPU20、ROM22、RAM24、ハードディスク装置26、キーボード28、モニタ30及び通信制御装置（CCU）32を具備する。勿論、ホストコンピュータ14が物理的に1台のコンピュータからなっていなければならないわけではなく、複数のコンピュータが協調

10

20

30

40

50

動作するものであってもよい。

【0013】詳細は後述するが、ホストコンピュータ14は、端末10からの指示に従い、複数の印刷工場40の内の適当な印刷工場に生産指示を出し、複数の配送センター（又は、倉庫）42の内の適当な配送センターに配送指示を出す。生産指示された印刷工場40は、印刷物を指定された配送センター42に配送する。配送センター42は指定された商品又は製品を指定された納入先44に配送する。

【0014】どの印刷工場で印刷し、どの配送センター42に在庫し、どの配送センター42から納入先に配送するかは、版下情報の存在箇所、納期に対する印刷機械の性能、及び納入先に応じて、柔軟に決定される。

【0015】ホストコンピュータ14のハード・ディスク装置26には、端末10からの発注を処理すると共に、顧客に種々のサービスを提供するためのリレーショナル・データベースが構築されている。そのファイル構造の概要を先ず簡単に説明する。なお、別のファイルで同じ名前のフィールドは一般にリンクされており、リレーション関係ある。

【0016】本実施例では、顧客又は得意先を、その共通情報を登録する顧客ファイルと、端末設置部署及び納品先に関する情報を登録する顧客部署ファイルとに分けて管理する。顧客ファイルの構造を図2(a)に、顧客部署ファイルの構造を図2(b)に示す。

【0017】顧客ファイルは、図2(a)に示すように、顧客毎にユニークな顧客コード、外部データベースとのリンクを考慮した企業コード、住所及び名称などのフィールドを具備する。

【0018】顧客部署ファイルは、図2(b)に示すように、顧客コード、顧客内でユニークな部署コード、住所、部署名（例えば、A支店総務部など）、担当者、納入先になりうるか否かを示すフラグ情報である納入先F、請求先になりうるか否かを示すフラグ情報である請求先F、発注元になりうるか否かを示すフラグ情報である発注元F、この部署から発注した製品又は商品の請求書の送付先を示す請求先コード、及び、この部署から発注した製品又は商品の納入先を示す納入先コードなどの各フィールドを具備する。

【0019】納入先F、請求先F及び発注元Fは、“1”のとき、それぞれ、納入先、請求先及び発注元になりうることを示し、“0”のとき、それぞれ、納入先、請求先及び発注元になりえないことを示す。これらは、顧客の指示に従い設定される。

【0020】請求先及び納入先は、通常は同じ顧客内の同じ又は別の部署となるが、別の顧客となることもある。例えば、業務に応じた1又は複数の子会社を設けている場合や、企業グループを構成する場合などがある。

【0021】このような要望を満たすべく、本実施例で

は、請求先コード及び納入先コードには、該当する顧客の該当する部署を示すコード（即ち、顧客コード+部署コード）を登録するようにした。どこを登録するかは顧客の指示に従う。このとき、例えば、請求先コード及び納入先コードの顧客コードに相当する欄に、顧客コードとして使用しないコード列、例えば“00...0”又は“99...9”を設定した場合、同じ顧客内であると理解し、その他のコード列の場合、そのコードが示す顧客の部署であると理解すればよい。

【0022】勿論、基本仕様として、納入先及び請求先を同じ顧客内に限定する場合には、請求先コード及び納入先コードには、該当する部署の部署コードを設定すればよい。

【0023】親子会社や企業グループなどのように複数の企業、即ち法的存在があり、これらの間で、発注状況や納品予定などを相互に閲覧又は検索したい場合がある。本実施例では、図3又は図4に示すグループ・ファイルを導入して別の顧客の発注状況などを閲覧又は検索できるようにした。

【0024】図3に示すグループ・ファイルは、各グループにユニークなグループIDと、そのグループに属する顧客（の部署）を特定する5つのコード#1～#5のフィールドを具備する。図2(a)に示す顧客ファイルにも、グループIDのフィールドを設ける。

【0025】図3の5つのコード#1～#5には、相互閲覧可能とした顧客の顧客コードを登録する。この場合、同じグループIDの顧客同士では、どの部署の発注状況などであっても相互に閲覧可能となる。5つのコード#1～#5に、顧客コード+部署コードを登録してもよい。この場合には、該当する顧客の該当する部署間でのみ、相互閲覧が可能になる。

【0026】図4に示すグループ・ファイルでは、閲覧する顧客（の部署）を主コードのフィールドに、閲覧される顧客（の部署）を従コードのフィールドに登録する。顧客のレベルで特定する場合、主コード及び従コードには該当する顧客コードを登録し、顧客の部署のレベルで特定する場合、主コード及び従コードには該当する顧客コードと、その該当する部署コードを登録する。

【0027】顧客ファイルの顧客コードと、顧客部署ファイルの顧客コードが、1:nのリレーションになることは明らかである。

【0028】図5は、端末10からのアクセスを管理するアクセス管理ファイルの構造を示す。ユーザID、パスワード、顧客コード及び部署コードの各フィールドを具備する。本実施例では、顧客の部署単位、現実的には端末単位でユーザIDとパスワードを設定する。ユーザID及びパスワードは短期間で変更するのが好ましい。これにより、ホストコンピュータへの不当な侵入を防ぐことができるからである。

【0029】図6は、顧客との契約内容を登録する契約

ファイルのファイル構造を示す。契約ファイルは、契約番号、顧客コード、契約した製品（又は商品）の品種又は分類を示す品種コード、契約した製品（又は商品）を示す製品コード、契約した製品の名称等を示す品名、契約単価、契約数量、その単位（例えば、箱、セットなど）を示す単位、契約数量の範囲で未生産の数量を示す未生産量、及び、契約数量内で倉庫に保管している数量を示す在庫などの各フィールドを具備する。更に、契約日、この契約の有効期限を示す契約有効期限のフィールドを具備する。

【0030】本実施例では、生産指示を出して未だ生産（印刷）完了していない数量も、在庫に計数することとしている。このような生産途中の数量も厳密に把握するには、例えば生産中の数量を示すフィールドを設ければよい。

【0031】契約が、顧客単位でなく顧客の部署単位となる場合には、部署コードのフィールドを設けるか、又は、製品コードとして別のコード値を設定すればよい。但し、後者の場合には、別の部署からも納品などを選択できるようにする。

【0032】図7は、納品指示のあった製品商品を登録する納品予定ファイルの構造を示す。オーダー番号、顧客コード、部署コード、納入指示のあった製品（又は商品）の製品コード、納入指示のあった製品（又は商品）の数量、納入先コード、納入先部署、納入先担当者、納入済みか否かを示すフラグ情報である納入済みF、倉庫から搬出した搬出日、納品を指示された日を示す納品日、備考などの各フィールドを具備する。

【0033】納入先コードには、顧客部署ファイルに登録され、且つグループ・ファイル（図3又は図4）により利用可能な顧客部署の顧客部署コードを登録することができる。但し、納入先の部署及び担当者については、一時的な変更を許しているため、納入予定ファイルには、納入先部署及び納入先担当者のフィールドには文字情報を登録できる。これにより、部署や担当者の一時的又は緊急的な変更にも柔軟に対応できるようになる。

【0034】図8は、特売商品に関する特売商品ファイルの構造を示す。品種コード、商品コード、商品名及び販売価格の各フィールドからなる。

【0035】次に、図9以降のフローチャートを参照して、本実施例の動作を詳細に説明する。なお、上述の各ファイルのフィールド名と同じ用語は、そのフィールドに格納される又は格納されている情報（文字、数値など）を示すものとする。

【0036】図9は、新規な製品の契約が成立したときのフローチャートを示す。顧客ファイル（図2（a））に未登録の顧客であれば（S1）、顧客ファイルに新規に登録すると共に、顧客部署ファイルにも新規登録する（S2）。顧客ファイルに登録済みであって（S1）、変更があれば（S3）、顧客ファイルの該当するレコー

ドを更新する（S4）。顧客部署ファイル（図2

（b））に未登録の顧客部署であれば（S5）、顧客部署ファイルに新規に登録し（S6）、登録済みであっても（S5）、変更があれば（S7）、顧客部署ファイルの該当するレコードを更新する（S8）。

【0037】そして、契約内容を契約ファイルに新規に登録する（S9）。この処理は、顧客でなく印刷会社が行なう。

【0038】契約ファイルの新規登録では、未生産量には契約数量と同じ数値がセットされ、在庫には0がセットされる。印刷工場への生産指示により、その生産数が未生産量から減算されると共に在庫に加算される。

【0039】図10は、端末10との協調動作に関わるメイン・ルーチンのフローチャートであり、ホストコンピュータ14の動作として図示してある。

【0040】まず、端末10のオペレータにユーザID及びパスワードの入力を促し、入力されたユーザID及びパスワードをアクセス管理ファイルと照合して、適切なユーザか否かを調べる（S11）。アクセス管理ファイルから顧客コード及び部署コードを入手し、顧客部署ファイルから納入先コードを入手し、RAM24の所定領域にセットする（S12）。

【0041】メイン・メニューを表示する（S13）。メイン・メニューには、納品指示メニュー（S14）、納入・出荷確認メニュー（S16）及び特売商品一覧メニュー（S18）がある。納品指示メニュー（S14）の選択に従い納品指示のサブルーチン（S15）に移行し、納入・出荷確認メニュー（S16）の選択に従い納入・出荷確認のサブルーチン（S17）に移行し、特売商品一覧メニュー（S18）の選択に従い特売商品一覧のサブルーチン（S19）に移行する。なお、オンライン終了の選択に従い（S20）、オンライン通信の終了処理を実行して（S21）、終了する。

【0042】図11は、図10のS15のフローチャートを示す。納品画面を端末10に表示する（S31）。端末10のオペレータの中止のキー操作に応じて（S32）、図10に示す主ルーチンにリターンする。メニュー選択の誤りに対して納品処理を中止できるようにするためである。

【0043】端末10のオペレータの一覧表示の選択に対して（S33）、契約ファイルを参照し、当該顧客（の当該部署）の製品コード及び品名を一覧表示し（S34）、適当な1つの選択を促す（S35）。この一覧表示で、製品コードの一部が入力されている場合、その入力データをキーとして該当するレコードを契約ファイルから検索し、一覧表示するのが好ましい。例えば、前方一致、後方一致及び包含などがある。

【0044】一覧表示が選択されずに（S33）、製品コードが入力されたら（S36）、契約ファイルを参照して、契約があるか否かを調べる。

【0045】結局、契約ファイルに登録のある製品コードが設定されるまで、S33～S36の部分を経ループする。

【0046】入力又は選択された製品コードの契約数量及び在庫を契約ファイル(図6)から読み出し、納品予定ファイル(図7)から納品状況を読み出して、これらの情報を納品画面の所定領域に表示する(S37)。

【0047】この段階の納品画面では、納品日、個数、納入先コード、納入先部署、納入先担当者、及び備考の各欄に入力可能である。納入先コードの欄には、顧客部署ファイルの納入先コード欄に登録があれば、その登録内容がデフォルトで表示され、登録がない(即ち、納入先Fが"0")とき、自身の部署コードがデフォルトで表示される。納入先部署及び納入先担当者の各欄には、納入先コード欄に表示されるコードで特定される部署の部署名及び担当者名がそれぞれ表示される。なお、納入先コード欄に表示されるコードで特定される部署の住所も表示される。

【0048】納品先としては顧客部署ファイル(図2(b))の納品先Fが"1"になっている部署の中から選択可能である。特定のキー操作により、別のウィンドウ画面で納品先たりうる部署のリストを表示する。

【0049】端末10のオペレータは、納品日及び個数を入力し、必要により、納入先コード、納入先部署及び納入先担当者を訂正し、備考欄に追加情報を記入する(S38)。納品日、個数、納入先コード、納入先部署、納入先担当者及び備考の各欄の情報は、ホストコンピュータ14に転送される。

【0050】ホストコンピュータ14は、入力された納品数を在庫の個数と比較し(S39)、在庫以下であれば、納品可能日を納品画面に表示する(S40)。入力された納品数が在庫を越えても(S39)、在庫と未生産量の和以下のとき(S41)、在庫を越える分を生産数量としてRAM24等に一時記憶し、納品可能日を納品画面に表示する(S42)。

【0051】S40、42では、入力された納品日が納品可能日以降であれば、そのままとし、納品可能日より前のとき、納品日の入力値を自動的又は強制的に納品可能日で置換してもよい。勿論、このように置換したときには端末10のオペレータに注意を喚起する。

【0052】入力された納品数が在庫と未生産量の和より多いとき(S41)、その旨を警告して入力の訂正を促す(S43)。契約単位での履行を貫徹するためである。警告(S43)の後、S31(又はS32)に戻り、上記の処理を繰り返す。また、S40、42の後で、入力がOKでないときも(S44)、S31(又はS32)に戻り、上記の処理を繰り返す。2回目以降では、納品画面には、これまでに入力されたデータが保存されているのが好ましいのは勿論である。

【0053】端末10のオペレータが納品指示の完了を

示す一定の操作をすると(S44)、ホストコンピュータ14は、これに従い、入力データを納品予定ファイルに登録する(S45)。即ち、納品予定ファイルの新規レコードの各欄に、入力データ及び他から転記したデータを登録する。この後、配送と必要な生産をそれぞれ配送センター42及び印刷工場40に指示し(S46)、図10に示すメイン・ルーチンに戻る。

【0054】図12は、図10のS17の詳細なフローチャートを示す。このルーチンでは、図3又は図4に関して説明したグループ・ファイルで参照を許可された別の顧客(の部署)に関する納入・出荷状況を検索することができる。このため、CPU20は、アクセスしている顧客コード及び顧客部署コード以外に、検索に使用する顧客コード(及び顧客部署コード)を一時的に記憶する領域をRAM24に設定する。初期的には、勿論、自己の顧客コード及び顧客部署コードで発生した納入・出荷状況が表示される。

【0055】ホストコンピュータ14は、先ず、検索に使用する納入・出荷の確認画面を端末10上に表示する(S51)。端末装置10のオペレータは、検索条件を入力する(S52)。検索条件には、製品コード、同じ顧客内の別の顧客部署コード及び表示範囲の日付がある。図3又は図4に示すグループ・ファイルで閲覧を許されないとされている顧客部署コードの入力を受け付けない。勿論、同じ顧客内であれば、閲覧を許しても通常は問題無い。

【0056】特定のキー操作に応じて、ホストコンピュータ14は、契約ファイルから、該当する顧客(の該当する部署)の製品コードを抽出して、別のウィンドウ画面に製品コード及び品名を一覧表示する。端末のオペレータは一覧表示のなかから適当なものを選択する。これにより、特定の製品コードが指定されたことになる。

【0057】同様に、特定のキー操作に応じて、顧客部署ファイルを参照し、同じ顧客内の別の部署の顧客部署コード及び部署名を別のウィンドウ画面に表示する。これにより、同じ顧客内の別の顧客部署コードを知ることができる。このとき、図3又は図4に示すグループ・ファイルで閲覧を許されないとされている顧客部署コードを表示しない。

【0058】ホストコンピュータ14は、入力された検索条件に合致するレコードを納品予定ファイルから検索し、一覧表示する(S53)。

【0059】端末装置10のオペレータは、自己の発注した分(即ち、自己の顧客コード及び自己の顧客部署コードで発注した分)について、納品指示を出荷前に限り削除できる(S54、55)。即ち、一覧表示された納品予定の1つを選択した上での、特定のキー操作に応じて(S54)、ホストコンピュータ14は、選択された納品予定が、端末10の所属する顧客部署が発注したものであるか否かを確認した上で、納品予定ファイルから

削除する(S55)。

【0060】顧客コードの変更の操作に対して(S56)、図3又は図4に示すグループ・ファイルを参照し、変更後の顧客コードが閲覧を予め許可されたものであるか否かを確認する(S58)。顧客コードの変更は、検索用の一時変数上で行なわれ、閲覧の可否は、グループ・ファイル上で、アクセスしている顧客コード及び顧客部署コードを基準に決定される。

【0061】閲覧を許可されていれば、顧客コードの変更を受け付け、検索用の顧客コード記憶変数を更新してS51に戻り(S60)、閲覧を許可されていなければ、顧客コードの変更を拒否し、S54に戻る(S61)。

【0062】顧客コードの変更後は、新しい顧客コードに属する部署の納入・出荷状況を自由に閲覧できるようになる。但し、納品予定の削除(S54、55)はできない。

【0063】端末10のオペレータによる、納入・出荷確認メニューを終了する所定操作に応じて(S57)、納入・出荷確認メニューを終了し、メイン・メニューに復帰する。

【0064】図13は、図10の特売商品一覧サブルーチン(S19)の詳細なフローチャートを示す。

【0065】先ず、特売商品ファイル(図8)をオープンし(S71)、読み出すレコードを示すレコード・ポインタを初期化し(S72)、レコード・ポインタに従って各レコードを順次読み出す(S73)。

【0066】読み出したレコードの商品コードを、アクセスしている顧客(の部署)で契約ファイル(図6)の製品コードとを照合し、契約している商品か否かを判別する(S74)。契約があるときには(S74)、契約ファイルの契約単価と特売商品ファイルの販売価格を比較し(S75)、契約単価の方が高ければ(S76)、特売商品として画面出力し(S77)、契約単価の方が安ければ(S76)、画面出力しない。契約が無い場合と(S74)、契約があっても契約単価の方が高い場合に(S76)、特売として提示する意味があるからである。

【0067】即ち、契約が無い場合(S74)、又は契約があっても契約単価の方が高い場合(S76)、そのレコードの商品コード及び商品名及び販売価格を端末10の画面に表示する。N件分画面に表示するまで、レコード・ポインタを進めて(S79)、S73~77を繰り返す(S78)。

【0068】端末10のオペレータが一覧表示された特売商品の何れか1つを選択した場合、納品指示ルーチン(S81)に移行する。この納品指示ルーチン(S81)は、実質的には、図11に示す納品指示ルーチンに類似している。例えば、指定された商品の品種コード、商品コード、商品名、及び販売価格を、それぞれ、契約

ファイル(図6)の品種コード、製品コード品名、及び契約単価に転記し、契約日に選択(S80)の操作日を、契約有効期限に特売の有効期限をそれぞれ設定してから、図11に示す納品指示ルーチンを起動すればよい。勿論、図11に示す納品指示ルーチンが中断された場合には、契約ファイルに転記したレコード内容を消去又は無効化しておく。

【0069】次画面又は前画面を選択する端末10のオペレータの操作に応じて、表示する先頭レコードを示すレコード・ポインタを更新し、S73移行を繰り返す。

【0070】特売商品一覧のメニューの終了を示す端末10のオペレータの所定操作に応じて(S82)、特売商品ファイルをクローズし、図10に示すメイン・ルーチンに復帰する。

【0071】オンライン発注管理システムを例に説明したが、本発明の一部はホストコンピュータ14でなく端末10側に設けられてもよいことは明らかである。例えば、端末10の側に、図3又は図4に示すグループ・ファイルの機能を実現するファイル又はテーブルを暗号化又はユーザによる書き換え不可能な形態で格納しておけば、グループの概念を利用する部分で通信コスト及び通信時間を削減できる。

【0072】保安上は、各端末10-1~10-Nを識別する端末識別情報を設定し、ホストコンピュータ14へのアクセスに際して、アクセスしている端末10をホストコンピュータが個別に識別できるようにするのが好ましい。

【0073】

【発明の効果】以上の説明から容易に理解できるように、本発明によれば、契約により限定された製品(商品)を契約数量の範囲内で受発注できるようになり、いわば、請負い業務に適した発注管理システムを提供することができる。

【0074】また、本発明の顧客管理システムによれば、別の存在(法人又は個人)の取引状況(又は利用状況)を限定された範囲で閲覧自在とすることができ、しかも、その範囲を任意に設定することができ、発注管理システムなどで柔軟な対応が可能になる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の一実施例の全体概略構成ブロック図である。

【図2】 顧客ファイル及び顧客部署ファイルのファイル構造図である。

【図3】 グループ・ファイルのファイル構造図である。

【図4】 グループ・ファイルの別のファイル構造図である。

【図5】 アクセス管理ファイルのファイル構造図である。

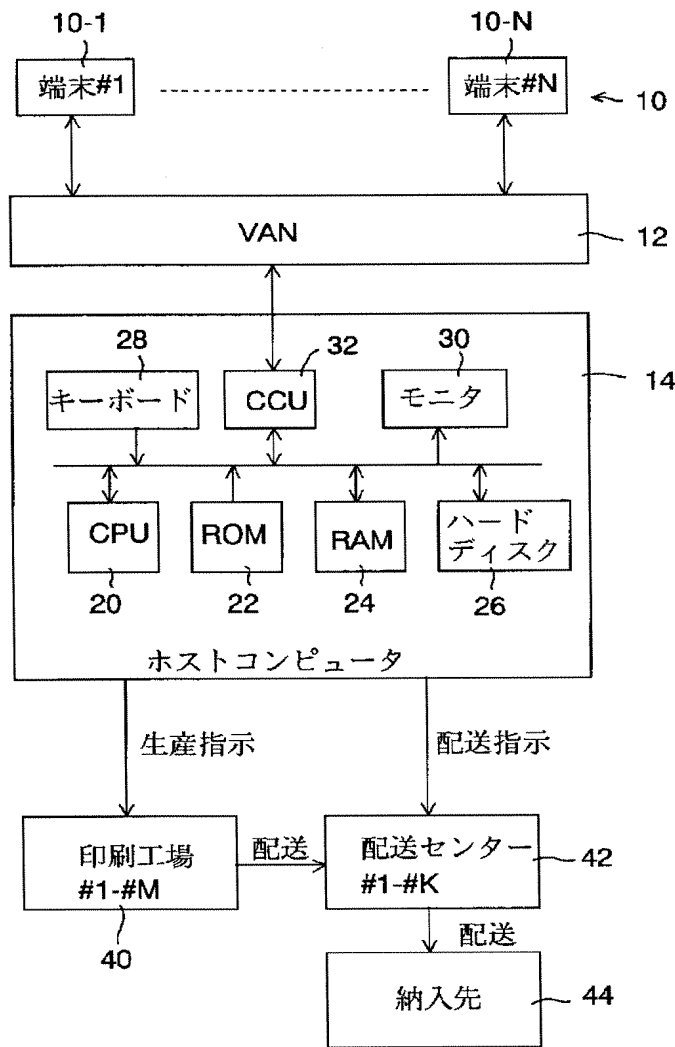
【図6】 契約ファイルのファイル構造図である。



【図7】 納品予定ファイルのファイル構造図である。  
 【図8】 特売商品ファイルのファイル構造図である。  
 【図9】 新規契約の際の処理フローチャートである。  
 【図10】 本実施例のメイン・ルーチンのフローチャートである。  
 【図11】 図10の納品指示ルーチン(S15)のフローチャートである。  
 【図12】 図10の納入・出荷確認ルーチン(S17)のフローチャートである。

\* 【図13】 図10の特売商品一覧ルーチン(S19)のフローチャートである。  
 【符号の説明】  
 10(10-1,・・・10-N):端末 12:付加価値通信網(VAN)  
 14:ホストコンピュータ 20:CPU 22:ROM 24:RAM 26:ハードディスク装置 28:キーボード 30:モニタ 32:通信制御装置  
 \* 40:印刷工場 42:配送センター 44:納入先

【図1】



【図2】

【図3】

【図4】

(a)顧客ファイル  
 顧客コード  
 企業コード  
 住所  
 名称  
 (グループID)

グループファイル  
 グループID  
 コード#1  
 コード#2  
 コード#3  
 コード#4  
 コード#5

グループファイル  
 主コード  
 従コード

(b)顧客部署ファイル  
 顧客コード  
 部署コード  
 住所  
 部署名  
 担当者  
 納入先F  
 請求先F  
 発注元F  
 請求先コード  
 納入先コード

【図6】

【図7】

契約ファイル  
 契約番号  
 顧客コード  
 (部署コード)  
 品番コード  
 製品コード  
 品名  
 契約単価  
 契約数量  
 単位  
 未生産量  
 在庫  
 契約日  
 契約有効期限

納品予定ファイル  
 オーダー番号  
 顧客コード  
 部署コード  
 製品コード  
 数量  
 納入先コード  
 納入先部署  
 納入先担当者  
 納入済みF  
 搬出日  
 納品日  
 備考

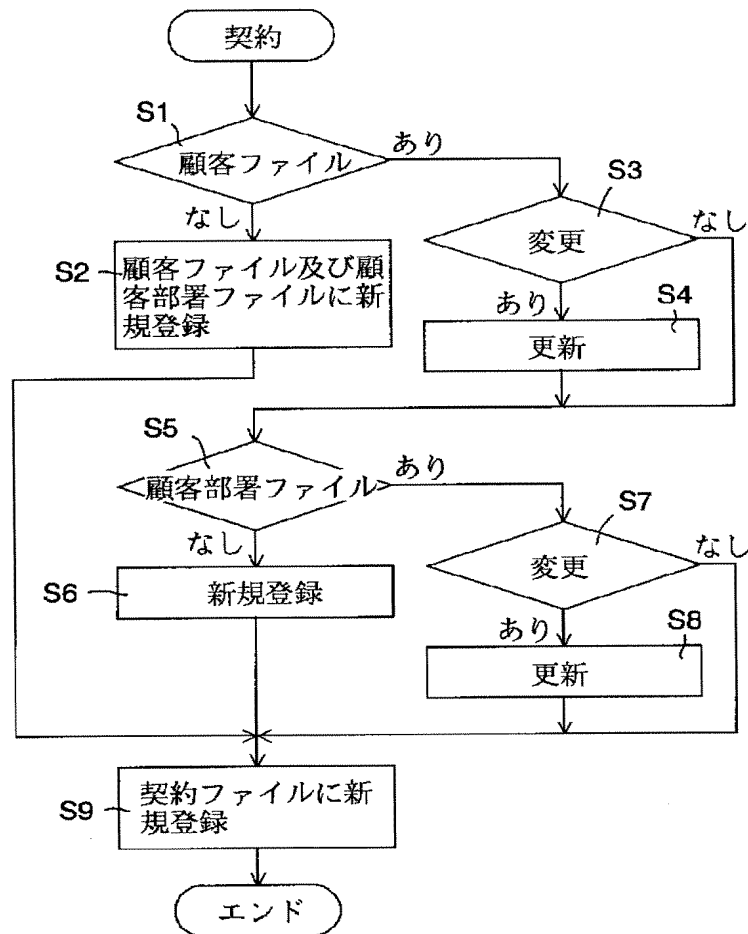
【図5】

【図8】

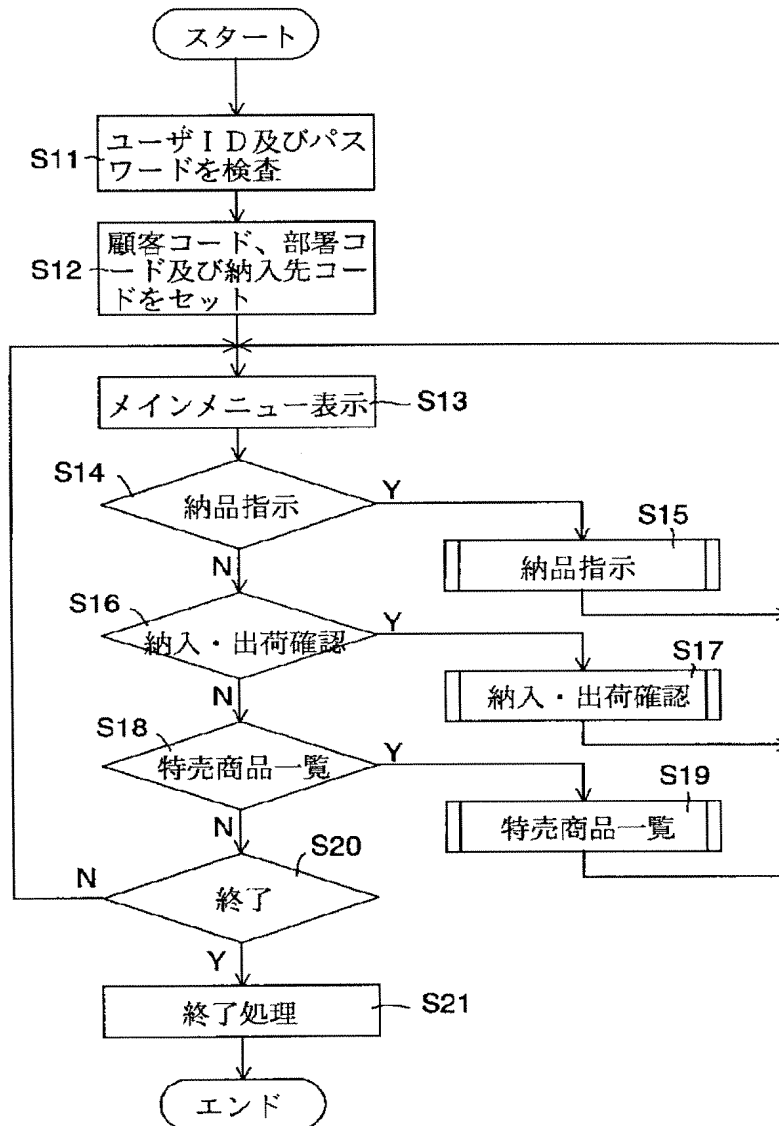
アクセス管理ファイル  
 ユーザID  
 パスワード  
 顧客コード  
 部署コード

特売商品ファイル  
 品番コード  
 商品コード  
 商品名  
 販売価格

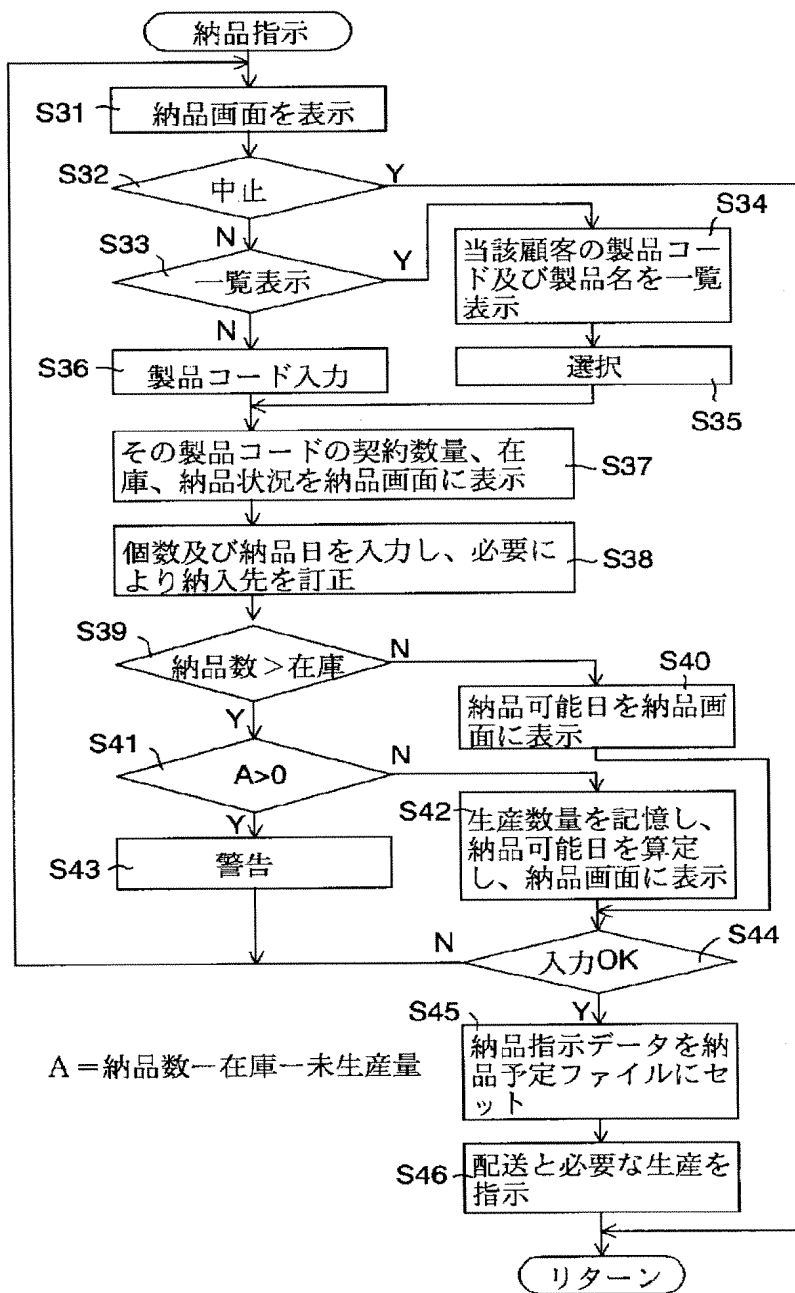
【図9】



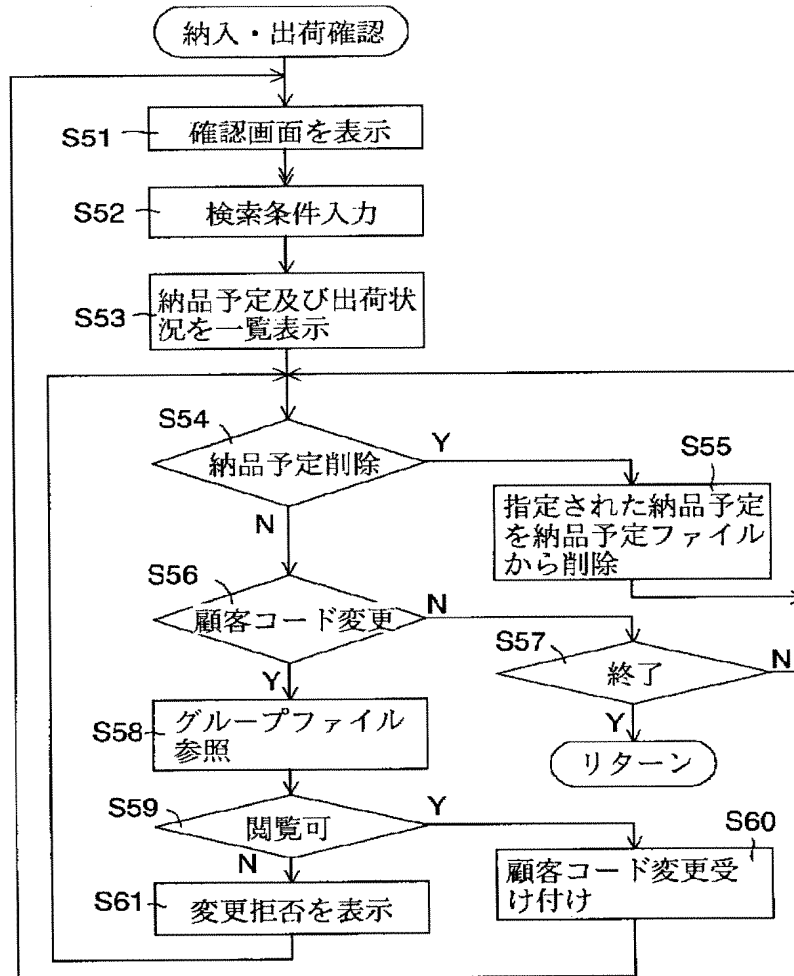
【図10】



【図11】



【図12】



【図13】

